

長野の林業

平成31年3月10日発行
長野の林業編集委員会

No.350

もくじ



特集

スマート林業のシンポジウムが開催されました	2
中部森林技術交流発表会…中部森林管理局	3
平成31年度緑化運動…長野県緑の基金／山火事防止の告知	4
平成30年度長野県林業士認定書授与式を開催 ／山地災害リスク低減シンポジウムを開催	5
お知らせ…里やんと山ちゃんからのお知らせ	5
県森連だより	7
長野県の木材市況	12



平成30年度からスタートした第3期森林づくり県民税では、里山の間伐に加え、「森林と人」、「森林と地域」の繋がりを再生し、地域住民による持続的な里山の管理と森林資源を利活用する取り組みを支援しています。

今回、この県民税を活用した「里山整備利用地域リーダー育成事業」により、南信州地域の課題である荒廃竹林の解消と竹の活用を推進するため、竹林整備の新たな取り組みなどを学び、里山の利活用を進める人材を育成することを目的として、平成31年2月17日(日)に下伊那郡喬木村富田地区において、竹林の多面的利活用講習を行いました。講習会には地域住民を中心に60名以上が参加し、午前中は(有)長野索道代表取締役萩原 順治 氏の指導の下、竹林での技術講習、午後は天竜川鷲流峡復活プロジェクト代表曾根原 宗夫 氏と中川村 竹の会「夢里人」事務局澤田 雄介 氏の先進的な竹林活用の事例を発表していただきました。

【信州の木活用課】

日本林業成長産業化シンポジウム 「ICTスマート精密林材業によるサプライチェーンシステムin東京」が開催されました

平成三十一年一月十七日(木)に、東京都千代田区の星陵会館において、レーザーセンシングとAI、ICT技術を核とするスマート林材業のサプライチェーンシステムに係るシンポジウムが開催されました。

県内では、平成二十八年から、信州大学・北信州森林組合・民間企業等による、ICTによるスマート精密林業のための先進的な技術開発・実証が全国に先駆け進められており、このシンポジウムは、林業関係者に加え、AI、ICT関係の有識者を招き、現在の成果と今後の展開についての発表・ディスカッションが行われたものです。

シンポジウムでは、信州大学の濱田学長、林野庁の牧元長官、長野県の太田副知事などから挨拶があり、基調講演・事例紹介のほか、活発なパネルディスカッションが行われました。



挨拶する太田副知事

基調講演を行った、(株)三菱総合研究所の小宮山理事長からは、木材産業が「五兆円産業」になるポテンシャルを持っており、ICT技術が進歩している今こそ、皆で取り組む時代だという発起があり、フィンランド大使館の木村上席商務官からは、木材の多様な資源利用と産業展開の事例等のご紹介がありました。また、事例紹介では、IT関連企業、森林信託、高層木材建築に取り組む企業等から報告がありました。

パネルディスカッションでは、川上から川下まで木材の需給情報を繋げるサプライチェーンシステムの構築には、先端の北欧等の情報・技術を学ぶとともに、林業界以外の産業の発想を取り入れ、ミックスすることが重要だとの発言がありました。

現在国内では、レーザーセンシング

等により、把握しにくいと言われた森林資源が詳細に把握できる技術が進歩し、今までは林業の世界と無縁だった、情報関連の企業等にも注目されるようになっていきます。

また、木材産業界では、公共建築物等の木造化、CLTや耐火木材製品等による中高層建築物の建築、木質バイオマスによる再生エネルギー利用など、新たな木材需要も出てきており、これらの木材需要に対応



フィンランドの取組発表

できる、安定的な木材供給の仕組み(マーケットイン・ジャストインテーム)が求められています。この実現に向けては、川上から川下までの関係者や技術者の連携と、新たなICT技術の活用が不可欠です。

長野県では、今後とも、信大等の最先端の技術開発・実証の取り組みを支援しながら、その成果を効率的に県内の林業関係者に広げ、林業の成長産業化と森林資源の持続的管理を進めてまいります。

※レーザーセンシング・航空レーザやドローン等を利用した詳細な資源の把握技術です。

※サプライチェーン・林業においては、木材需要者のニーズに対し、生産・加工・流通の連携により、最適な納期とロットで供給される一連の流れの事です。

※CLT…板の繊維方向を交互に直交するように接層接着した厚型パネル。欧州で開発され、高層木造建築に利用されています。

【信州の木活用課】

平成三十年度 中部森林技術交流発表会を開催

【中部森林管理局】

一月二十九日から三十日にかけて、中部森林管理局大会議室において「平成三十年度中部森林技術交流発表会」を開催しました。

この発表会は、国有林や民有林の行政・教育・研究機関等の森林・林業に関する知識・技術を共有し、成果の普及と森林・林業の発展に資することを目的に、昭和二十六年から開催しており、今回で通算六十五回目となりました。

今年度は、国有林関係から十七課題、民有林・学校関係等から十六課題の計三十三課題の発表がありました。

参加者は、「森林技術」、「森林保全」、「森林ふれあい」の各部門において、山地災害やニホンジカへの対策、UAV等の先端技術を用いた技術開発等多岐にわたる様々な発表を行いました。

一日目の発表終了後には、信州大学農学部岡野哲郎教授から、二日目は名古屋大学大学院生命農学研究科田中隆文准教授から講評をいただきました。



発表会場の様子

また、特別発表として、林野庁のコンクールで



受賞者と審査関係者で記念撮影

最優秀賞を受賞した有限会社金山林業石井良典氏より

「生産性向上実現プログラム」の取組を発表していただきました。

今年度は、

二日間で発表者・聴講者等を含め延べ三五〇名を超える参加をいただきました。

（発表順で掲載）

◆国有林関係

※局長優秀賞

☆樹齢一七〇年を越えたヒノキ人工林の動態

～赤沼田天保林の調査報告～

森林技術・支援センター

三村晴彦

☆既設治山ダムを活用した流木捕捉工の開発

～流木災害防止緊急治山対策プロジェクト～

東濃森林管理署 菅野暢晃

中部森林管理局 中澤敏雄

中信森林管理署 宗廣克徳

☆南信森林管理署における「ついで見回り・通報」の取組について

南信森林管理署

上伊那猟友会 渡邊修・有永心

宮下建設株式会社 竹入正一

☆Googleストリートビューを活用した

国有林利用の推進

木曾森林管理署

池端久美子・古澤博

○民有林部門

※審査委員特別賞

☆屋根型道づくり7・7豪雨の被災状況と課題

岐阜県フォレスト協会 中谷和司

○学生部門

※審査委員特別賞

☆環境性と経済性が安定して恒続する森林を

目指して～育成木の選木方法の検討～

岐阜県立飛騨高山高等学校

吉川裕示・中齋秀友

その他の賞の受賞者につきましては、中部森林管理局のホームページをご覧ください。

(<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/fukyu/kouryuhappyoukai/h30-kekakahml>)



ふるさと信州に緑の輪を広げよう

「緑の募金」しくみ

・家庭・街頭・職場・企業・募金箱



高校生による募金活動



A.C.長野パルセイロ試合開始前の募金活動



2017ミス日本みどりの女神による募金活動

平成30年 長野県募金総額77,729,698円 ご協力ありがとうございました。

活用

ご協力をいただきました「緑の募金」は、里山の手入れ、みどりの少年団の育成などに活用させていただきました。



森林整備

緑化の推進

人づくり



公募事業



植樹祭



みどりの少年団交流会開催



森林環境教育指導者研修会開催

緑の募金の使途

募金活動経費
(募金運動啓発、募金資材など) 14.2%
(公社)国土緑化推進機構の中央事業
(海外植林、公募事業など) 3.6%

公募事業
(緑の募金公募事業) 5.1%

緑化の推進事業
(公共施設の緑化、緑化木の配布植樹、育樹祭の開催など) 54.6%

人づくり事業
(みどりの少年団の育成、指導者の養成など) 22.5%



募金額に応じて「オリジナル」「木製」「鹿革全8色」のピンバッチを差し上げております。多くの皆さんの身近で輝くことで森林が元気になります。



公益財団法人長野県緑の基金

長野市大字南長野字幅下692-2 長野県庁内
Tel.026-232-0111 (内線4818)
Eメール green@midori-joho.gr.jp

美しい信州の緑や森林づくりのため、「緑の募金」に協力をお願いいたします。

春の山火事予防にご協力ください!!

春は特に空気が乾燥し、強い風が吹くことから山火事が起こりやすい時期です。

長野県では、1年間に発生する山火事の約60%が春先3月から5月に発生しています。山火事は消火が難しく、広範囲に被害が及ぶ危険性が高い火災です。原因のほとんどは「火の取扱いの不注意」ですので、一番の被害対策は一人ひとりの『山火事を発生させない!』という心がけです。

墓参りの線香の火種が山林170haに延焼したとされる事例もあります。「忘れない豊かな森と火の怖さ」。大切な森林を守るため、屋外での火の取扱いに十分ご注意ください。

【森林づくり推進課】

平成29年5月に発生した林野火災



山火事予防のパトロール

平成三十一年度 長野県林業士認定証書授与式を開催しました



平成三十一年二月十四日に、塩尻市「長野県林業総合センター」において、新たに林業士として認定した三名に、認定証書を授与しました。

林業士は、森林・林業をけん引する地域リーダーであり、二年間で延べ四十六日間の研修を終えたのちに、書類や面接による審査を経て認定します。この林業士制度は長野県独自のもので、昭和四十九年からの四十五年間で五百三十六名を認定し、県内各地域で活躍されています。

認定式では、審査委員長の菅原聡様（信州大学名誉教授）から「広い視野で自ら行動する林業士となつてほしい」と、長野県林業士会会長の飯森幸彦様（岡谷市）からは「一人で林業士会に入って仲間とともに活動をしてほしい」とのお言葉を、それぞれからいただきました。

山崎明林務部長から認定証書を授与された後に、認定者を代表して橋本拓様（安曇野市）が「期待に応えるべく、それぞれの個性を活かし活動をしたい。」と力強いあいさつがありました。今回認定した三名の新たな林業士の皆さんには、これからそれぞれの地域で、里山の利活用を進めながら、地域づくりに御活躍されることを期待いたします。

【信州の木活用課】



【林業士】
橋本 拓
安曇野市



【林業士】
橋詰 一生
麻績村



【林業士】
荒山 雄大
大町市

「山地災害リスク低減シンポジウム」 を開催しました

「森林防災」と「木材生産」の両立を図るためには、崩壊危険地をあらかじめ把握し、危険な場所では災害に強い森林づくりを目指し、安全では生産性の高い場所でも木材生産を行うという経営判断が求められます。近年発達が目覚ましいICTを活用することで、このような森林経営管理をより効率的に行うことが可能になってきました。

ICTを活用した森林経営管理方法を考えるために、平成三十一年二月六日（水）に、長野市生涯学習センターにおいて、「今、『森林防災』と『木材生産』を考える」と題してシンポジウムを開催しました。当センターも所属する災害低減共同研究機関が主催となって開催し、長野県内外の先進的な取り組み事例や、最新の研究成果について発表がありました。

本シンポジウムでは、スマートフォンを使って、会場での質問受付を行いました。講演を聴きながら熱心にスマートフォンに質問入力をしていく参加者の姿が見られ、シンポジウムもより熱気がこもったものとなりました。

当日の資料は左記URLまたはQRコードから見るができます。



シンポジウム資料



スマートフォンによる質問受付の様子

https://drive.google.com/drive/folders/1MVrPYMR7qtffe-XbHRUCnFMVufE_QJ3

【長野県林業総合センター】



里やんと山ちゃんからのお知らせ

里山整備利用地域の紹介 ～長野市浅川地区～



今回は長野市の里山整備利用地域「長野市浅川地区」を紹介しましょう。
里やん、「林福（りんぷく）連携」って聞いたことありますか？

へ？ 何だろう?? 聞いたことない…なあ…



森林・林業の「林」に福祉の「福」で「林福」ですよ。福祉の分野で森林を利用してもらうってことでしょうかね。長野市の浅川地域では、障がい者就労施設の利用者の皆さんが、伐採した木を薪にして販売しているんですね。

なるほど～!就業の機会にもなるし、森もきれいになるよね。



もともと、支援員の方が伐採した木で薪を作っていたんですけど、これからは、里山整備利用地域に認定して、地域の団体や自治会の人たちとも連携して進めるんですって。

森にいろんな人が関わってくると嬉しいね。
里山整備利用地域って、社会にも貢献する、「三方よし」だね!!



そうですね。地域の人たちも障がい者就労施設の活動を応援してくれていますね。林福連携のような新しい取組が増えてくると、森林を訪れる人も増えて、地域の人にも里山に関心を持ち続けてくれるようになりますよね。

林福連携か…、これから注目だね。



伐採地(萌芽更新)の様子



トラックによる薪の運び出し

【森林政策課】

CT-500C/CS 林業ベースマシン

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



車幅 1.96mの小型ボディに 12t 油圧ショベル級ハイパワーエンジンを搭載した間伐対応マシン

- ・環境に配慮した特定特殊自動車排出ガス 2011 年基準適合エンジンを搭載しました。
- ・エンジンを車体後部に配置し、カウンタウエイト形状を変更することにより、後方最小旋回半径を短縮しました。

新型マルチモニタ搭載

- ・マルチモニタに各種情報を表示することによりメンテナンス性を向上させました。
- ・マルチモニタにプロセッサの情報を表示。ベースマシンとプロセッサの制御システムを統合しました。
- ・材積集計機能を標準搭載しました。



For the future with forest

イワフジ工業株式会社

<http://www.iwafuji.co.jp>

- (関東支店) 東京都台東区東上野 5-16-5
TEL 03-5806-3250 FAX 03-5806-3260
- (本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷 5-1
- (支店) 札幌・東北・北関東・関東・中部・関西・九州



平成31年度 長野県森連通常総会開催

当連合会の第82回通常総会が平成31年2月28日(木)に長野県林業センタービルにて、来賓・会員の皆様に多数出席を賜り、開催されました。

総会は、林和弘副会長の開会に続き、藤原忠彦会長より、まもなく元号が改まる本年は森林組合を取り巻く環境が多く変わる年であり森林組合系統も飛躍元年となるよう願う旨、挨拶が行われました。その後、県林務部信州の木活用課



藤原会長による挨拶

長・城風人様、中部森林管理局森林整備部長・川戸英騎様、農林中央金庫関東業務部部长・竹淵晶代様、より祝辞を頂きました。

議事は、栄村森林組合・桑原重雄組合長を議長に、第1号議案・平成30年度事業報告等から、第9号議案・役員退任慰労金の贈呈についてまでの全9議案が審議の上、原案通り承認・決定されました。また、本年は役員補欠選挙が行われ、1名の理事が当選しました。

引き続き、系統利用優良森林組合への感謝状の贈呈及び永年勤続職員表彰(専任職員15名、技能職員21名)が行われ、受賞者を代表して長野森林組合・伊藤賢治様から謝辞をいただき、総会の全日程を終了しました。

平成30年度事業報告 (総括・概要)

本年4月から導入される、森林

経営管理制度と森林環境譲与税について、会員を対象に説明会を開催しました。一方、既存の森林整備関係の補助制度について、問題点や課題を会員から意見集約し、県と意見交換会を実施しました。

会員のコンプライアンスとガバナンスの充実・強化を図るため、研修会を開催するとともに、公認会計士等の専門家を活用した森林組合経営改善支援事業を継続し会員への助言、指導を行いました。

木材販売については、受託・買取販売、国有林のシステム販売、他県森連との連携による広域販売などに取組んだ結果取扱い高287千㎡となりました。

会員の他、県、国、関係機関、関係各員のご理解、ご協力に感謝を申し上げます。

平成31年度事業計画 (総括・概要)

本年は森林・林業を巡り多くの動きがある年となることから、行政機関、諸団体との連携を密にし、会員へ情報を提供すると同時に、会員の意見を行政機関に伝える役



謝辞を述べる伊藤賢治氏

割を担います。

また、林業従事者確保への取組み、森林保険の加入推進、森林組合のコンプライアンスやガバナンスの更なる充実・強化に向けた取組みを行います。

関係各位と連携しながら、引き続き木材需給のマッチングと安定供給に努めます。

系統利用優良森林組合 感謝状贈呈名簿		
木材販売事業	長野	森林組合
	松本	森林組合
	北信	森林組合
	上伊那	森林組合
購買事業	栄村	森林組合
	信州上小	森林組合
	松本	森林組合
	長野	森林組合
	飯野	森林組合
	佐久	森林組合



その手から つながる未来 広がる緑

平成 31 年度
国土緑化運動標語

一般社団法人

長野県林業センター

理事長 藤原 忠彦 副理事長 水本 豪
副理事長 宮崎 正毅 常務理事 塩入 茂

長野県森林組合連合会

代表理事会長 藤原 忠彦
副会長 林 和弘 代表理事専務 高田 幸生

長野県林業団体協議会

会長 高田 幸生
副会長 宮崎 正毅 副会長 水本 豪

長野県木材協同組合連合会

理事長 宮崎 正毅 副理事長 宮野尾 宏
副理事長 佐原 良彦 副理事長 麦島 照幸
副理事長 都築 透 専務理事 小島 和夫
副理事長 大久保 陸男 事務局長 松本 寿弘

林業・木材製造業 労働災害防止協会 長野県支部

支部長 宮崎 正毅 専務理事 小島 和夫
副支部長 高田 幸生 事務局長 阿部 勝彦

信州木材認証製品センター

理事長 宮崎 正毅
副理事長 齋藤 廣 専務理事 小島 和夫
副理事長 高田 幸生 事務局長 松本 寿弘

一般財団法人

長野県林業労働財団 長野県林業労働力確保支援センター

理事長 山口 勝也

「森林・林業の総合アドバイザー」

一般社団法人

長野県林業コンサルタント協会

理事長 羽田 健一郎

長野県治山林道協会

会長 羽田 健一郎 役職員一同

一般社団法人

長野県猟友会

会長 竹入 正一

長野県山林種苗 協同組合

理事長 富澤 修一

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林整備センター

長野水源林整備事務所

所長 春原 武志
長野県水源林造林協議会
会長 中村 武雄



株式会社 山二

〒382-0045
長野県須坂市井上 1700 - 17



監代表 理事 名譽 理
" " " " " " " " 事務 事長
事 事 事 事 事 事 事 事
高 新 黒 倉 山 大 笹 星 小 高 小 齋 田
見 井 澤 沢 岸 保 崎 野 島 田 沢 藤 中
勝 藤 和 明 喜 陸 千 勝 和 幸 德 高
人 弘 夫 人 昭 男 城 好 夫 生 一 敏 徳

東信木材センター
協同組合連合会
小諸市甲字鞍掛 四七四七
FAX (〇二六七) 二二三一〇八七七
(〇二六七) 二二三一一二九三七



私達も緑化推進運動に協力しています。



君の手で大きく育てる 緑と未来

平成31年度
育樹運動標語

長野県森林組合長会

会長 林 和弘

長野県造林協会

会長 藤原 忠彦

長野県林業 薬剤防除協会

会長 牧 司

損害保険代理店・環境事業計画施工・墓石

株式会社 モリレン長野

代表取締役社長 田中 高德
専務取締役 室賀 秀樹

佐久森林林業振興会

役職員一同

上小林業振興会

会長 羽田 健一郎 役職員一同

諏訪地域森林づくり ・林業振興会

役職員一同

上伊那山林協会

役職員一同

下伊那山林協会

役職員一同

木曾山林協会

会長 貴舟 豊 役職員一同

松本地域森林林業振興会

役職員一同

長野地方緑化推進委員会

会長 染野 隆嗣 役職員一同

伐採木から解体木材まで適正処理はお任せください!

地産池消のエネルギー

- 間伐材・道路支障木解体木材
- 原料木(根株・枝条・廃木材等)
- 用途に応じたサイズに破砕(0~50mm)
- バイオマス発電用燃料
- 吹付用基盤材(長野県特肥309号)

至飯綱スキー場
看板
お山の発電所
当社工場
至浅川・長野市街地

一般廃棄物処分業許可:長野市50006号

電子 manifests 対応 ISO 14001:2004

宮澤木材産業株式会社

環境事業部 木材リサイクルセンター

TEL.239-3260

長野市中曾根3646-1 FAX.239-3252
受付時間/8:00~17:00 定休日/日・祝祭日
本社/長野市中曾根2188-5 TEL.239-0588

URL <http://www.mwwi.co.jp> E-mail kankyout2@mwwi.co.jp



その手から つながる未来 広がる緑

平成 31 年度
国土緑化運動標語

一般財団法人

日本森林林業振興会 長野支部

支部長 土田 薫

長野市大字稲葉 2413-3 ☎026-226-0915

一般社団法人

長野林業土木協会

会長 木下 修 役員一同

長野国有林森林整備協会

会長 花見 隆夫
副会長 林 和弘
事務局長 酒井 省三

長野市大字稲葉字母袋沖 612-2 ☎026-285-9070

日本林業土木株式会社

長野出張所 所長 竹内 正比古

長野市中御所岡田町 30-16 ☎026-227-6185

みどり産業株式会社

代表取締役社長 洞 和雄

本社 長野市大字稲葉2413-3 ☎026-224-8708

株式会社 長野林友

代表取締役 清水 信之

長野市大字稲葉 2413-3 ☎026-226-7741

 一般社団法人

日本森林技術協会

長野事務所 所長 井上 康

長野市中御所岡田町 30-16 ☎026-217-2660

(株)中部森林技術コンサルタンツ 長野支店



支店長 長谷川 洋

長野市大字稲葉中千田沖 2040-2 ☎026-224-8710

株式会社 森林テクニクス

長野支店

長野市松岡 1-16-34 ☎026-214-9271

北信木材生産センター協同組合

代表理事 竹下 元治

長野市大字穂保字中ノ配 342

木曽木材生産事業協会

会長 大井 仁

木曽郡上松町荻原中島 1579-3

南佐久北部森林組合

代表理事 組合長 佐々木 定男

4月の市売りのご案内

本部事務所(製品)	荻原事務所(原木)	坂下事務所(原木)	国有林土場等活用委託販売市売り
花まつり 第45回全木協連優良 国産材製材品展示会 4月20日(土)	春季謝恩市 4月23日(火)	4月 4日(木) 春季謝恩市 4月24日(水)	4月16日(火) <small>入札物件紹介・入札結果はホームページに掲載 ※本市売は、これまでの木曾地区国有林の公売に代わるものです。</small>

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



木曽官材市売協同組合

ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>

荻原事務所：長野県木曾郡上松町荻原字中島 1431-1 ☎0264-52-2483(代) FAX0264-52-4885
やぶ原土場：長野県木曾郡木祖村数原 844-1 ☎0264-24-0085(代) FAX0264-24-0086
坂下事務所：岐阜県中津川市坂下 133-1 ☎0573-75-3178(代) FAX0573-75-3172

理事長 野村 弘

本部事務所：長野県木曾郡上松町正島町2-45
☎0264-52-2480 FAX0264-52-2324



君の手で大きく育てる 緑と未来

平成 31 年度
育樹運動標語

南佐久中部森林組合

代表理事
組合長 黒澤 和夫

レストラン 四季の味 樹木里

南佐久南部森林組合

代表理事
組合長 藤原 忠彦

緑を育て山を守る

佐久森林組合

代表理事
組合長 山岸 喜昭 役職員一同


緑の担い手

信州上小森林組合

代表理事
組合長 倉沢 明人 役職員一同

諏訪森林組合

役職員一同

 もりもり上伊那

上伊那森林組合

代表理事
組合長 白鳥 孝 役職員一同



飯伊森林組合

代表理事
組合長 林 和弘 代表理事
顧問 古田 美士
常務理事 吉澤 悦史 役職員一同

信州根羽すぎ・根羽ひのき

根羽村森林組合

代表理事
組合長 大久保 憲一 役職員一同
下伊那郡根羽村 407-10

和合森林組合

代表理事
組合長 村澤 博光 役職員一同

木曽森林組合

代表理事
組合長 神村 光雄

木曽南部森林組合

代表理事
組合長 坂家 重吉 役職員一同

南木曽町森林組合

代表理事
組合長 藤原 和年 役職員一同

松本広域森林組合

代表理事
組合長 吉田 満男 役職員一同

長野森林組合

代表理事
組合長 酒井 美明 役職員一同

北信州森林組合

代表理事
組合長 中山 稿一 役職員一同

栄村森林組合

代表理事
組合長 桑原 重雄 役職員一同

長野県の木材市況

第1019回 市況表

(平成31年2月20日実施)



長野県森林組合連合会 伊那木材センター

TEL0265-72-2684 Fax0265-76-8759

Table with columns: 樹種, 長さ (m), 規格, 末口 (cm), 高値 (円/m³), 中値 (円/m³), 備考. Includes rows for various wood types like 大きなき, すぎ, もみ, さら, なら, くらみ, くり, あかまつ, なら, からまつ.

出品量 752㎡ 販売量 748㎡ 落札率 99% 買い方 24社

出品にご協力いただきありがとうございます。今回、広葉樹（くらみ）に高値がつきました。針葉樹、価格横ばいですが、需要あり。杉を伐採される予定の方は注文材等ありますので、当センターにご連絡下さい。尚、出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。（*安全のため荷下ろし、積込みの際には車止めの使用をよろしく申し上げます。）

第1021回市売り 市況表

(平成31年2月19日実施)



長野県森林組合連合会 中信木材センター

Tel 0263-77-2347 Fax 77-2349

Table with columns: 樹種, 長さ (m), 規格, 末口 (cm), 高値 (円/m³), 中値 (円/m³), 備考. Includes rows for various wood types like すぎ, ひのき, からまつ, あかまつ, くり, なら, くらみ, さら.

出品量 4,064㎡ 販売量 3,764㎡ 落札率 93% 買い方 33社

アカマツ・ひのき材中心の市売りとなりました。大径木に高値がつき活発な市売りとなりました。又、3月7日広葉樹祭りを開催予定です。皆様のご協力お願い申し上げます。尚、当連合会は合法木材に取り組みしております。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1053回 市況表

(平成31年2月20日実施)



長野県森林組合連合会 北信木材センター

Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

Table with columns: 樹種, 長さ (m), 規格, 末口 (cm), 高値 (円/m³), 中値 (円/m³), 備考. Includes rows for various wood types like すぎ, ひのき, からまつ, くり, くらみ, きばた, ほんのき.

出品量 5,455㎡ 販売量 5,405㎡ 落札率 99.1% 買い方 49社

今回は、春の気配を感じる陽気のなか、大勢のお客様にご来場いただき、大変賑やかな市売りとなりました。市況としまして、カラマツについては依然として高値で安定しております。スギについては、前回同様横ばい傾向となっております。どちらも依然として需要があり、やや不足感も出てきておりますので、引き続き積極的に出品願います。また、広葉樹については、前回（広葉樹祭り）に比べるとやや値下がり傾向となったものの、大径材には高値が見られました。しばらくは高値傾向が続く見込みですが、春になると急激に値下がりしますので、伐採予定の方は早めのご出品をお願いします。【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず（合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の）納品書の提出をお願いします。

第508回 木材共販市況表

(平成31年2月14日実施)



出品量 1,200㎡・買い方 15社・落札率 94.0% 飯伊森林組合木材共販所

Table with columns: 樹種, 長さ (m), 規格, 末口 (cm), 高値 (円), 平均値 (円), 平均石値 (円), 備考. Includes rows for various wood types like ひのき, すぎ, からまつ, くり.

ひのき、出材少なく良材に応集集中。価格は横ばい。すぎ、太物出荷あり引き合いあり、価格は横ばい。からまつ引き合いあり、価格は横ばい。全体に出荷量少なく低調。引き続き出荷の協力をお願いいたします。